

令和2年度

神戸リハビリテーション福祉専門学校

学校関係者評価報告書

文部科学省・専修学校における学校評価ガイドライン 準拠

学校法人スマイル・アカデミー

1. 学校関係者評価の実施について

今回の学校関係者評価は、文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って実施した「学校自己評価報告書（平成30年度）」について、当行に関係の深い3名の評価委員（委員名簿）に評価していただいた。

評価委員には、学校運営状況をまとめた資料を配布し、学校自己評価報告書の内容について説明した上で意見等を聴取した。

2. 学校関係者評価委員会 委員

氏名	所属	選出区分	任期
中元 恵一	医療法人社団董会 理事	(1)	1年
安井 翔一	伊川谷病院 リハビリテーション科	(2)	1年
稲葉 浩之	介護老人保健施設すみれ苑	(3)	1年

3. 本校出席者

氏名	役職・所属等
岸本 芳宣	学校長
嘉戸 直樹	副校長・理学療法学科 学科長
神原 珠美	介護福祉科 学科長

4. 日時・場所

令和3年5月11日（火） 午後4時～午後5時30分
神戸リハビリテーション福祉専門学校 会議室

5. 委員会次第

- (1) 開会
- (2) 学校長挨拶
- (3) 学校評価に係る経緯説明
- (4) 令和2年度 学校自己評価報告
- (5) 意見交換
- (6) 閉会

6. 議題等

(1) 学校長挨拶及び趣旨説明

学校関係者評価委員会設置の経緯及び「職業実践専門課程」における委員会の位置づけについて説明

(2) 学校関係評価に係る経緯説明

「学校関係者評価基本方針」「専修学校における学校評価ガイドライン（文部科学省）」等の資料に基づき、学校関係者評価委員会の設置された経緯や委員会の位置づけや目的について説明した。

(3) 令和2年度 学校自己評価報告

本年4月に作成した「学校自己評価報告書」について、各評価項目における現状、課題と改善策について報告があった。

(4) 意見交換

学校自己評価報告書の内容を踏まえ、今後の学校運営の改善点等について、次のような意見を頂いた。

① 教育理念・目標について

(委員より)

・常に現場との連動を心掛けながら、理念・目的・育成人材像を確かなものにして、学生・保護者・教職員が共有していくことを心掛けてほしい。

② 教育活動について

(委員より)

・教育課程編成委員会による意見を反映させ、また関係施設等との連携、実習巡回時での指摘事項について、より実践的な職業教育に努めてもらいたい。

・新型コロナ禍で、様々な苦労があったと思われるが、学生への教育の質の低下だけは避けなければいけないので、引き続き、宜しくお願いします。

③ 学修成果について

(委員より)

・卒業生が気軽に学校に来られる環境はあると思うが、学校側主導で何か卒業生が集まるようなイベント等を同窓会として機能されるとよいと思う。

・介護福祉科の留学生に関しては、国家試験合格率を引き上げるように更なる努力をお願いしたい。

④ 学生支援について

(委員より)

・福祉施設等の採用担当者を招いて説明会を行っていることは評価できる。より企業と学生たちの接点を多く設けて貰えるとよいと思う。

⑤ 教育環境について

(委員より)

・実習を通じて、病院・施設の良さを理解し、最終的に就職につながり可能性が大きいので、実習先の選定は大変重要であると考えている。今後も、学生の就職等も考慮した実習先の選定に努めてもらいたい。

・新型コロナ禍で、遠隔講義も導入していることを踏まえて、校内のWIFI環境を充実させては如何か。

⑥ 学生募集に関して

(委員より)

・厳しい状況が続いていると認識した。今後は、離職者訓練、外国人留学生等、様々なルートで入学されると思うので、今後も募集活動には工夫をしてほしい。また、高校新卒者の入学者が逡減してきているので、貴校の強みを高校の現場に訪問してアピールするようにしてほしい。

(5) 閉会

たくさんのご意見をありがとうございました。今後は、各評価委員から頂いた貴重なご意見・ご助言を真摯に受け止め、より質の高い教育、学校運営を実現すべく教職員一同努力してまいります。

引き続き暖かいご指導とご協力をお願いいたします。

以 上